

市政ニュース

昭和 46 年 6 月 15 日

264号

毎月 1日・15日 発行

一部5円

発行所 五所川原市役所



齋藤本部長

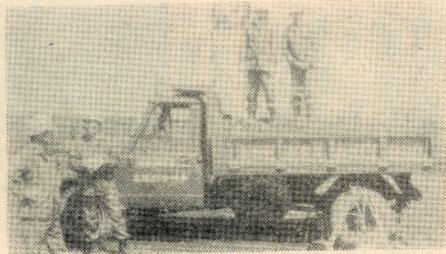
佐々木市長は、市の美化と明るく安全な環境づくりを積極的に取組むため、環境パトロール班・道路交通パトロール班・消防防災パトロール班・生活環境パトロール班の四班からなる生活環境パトロール隊を結成しました。このパトロール班の、環境班は保険衛生課と商工観光課、道路交通班は交通対策室と建設課、消防防災班は消防本部と消防署の職員をもって主として編成し、連日パトロールの結果、別表のように多くの

パトロール実施しています

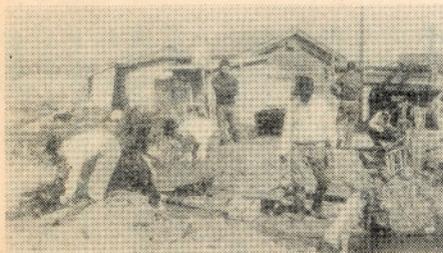
環境班・道路交通班・消防防災班が
毎日パトロールしています



(ごみの山もその日のうちに...)



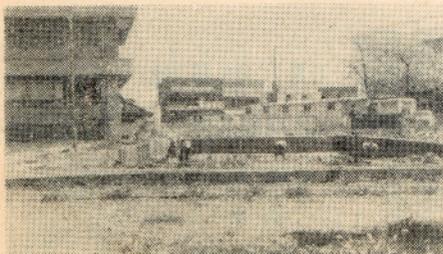
(環境班パトロール車)



(破損発見/木橋も即日架替終了)



(おなじみの道路交通パトロール車)



(まず、防火貯水槽の清掃点検)



(特製新鋭の消防防災パトロール車)

効果をあげ広く市民から好評を得ています。もちろん今後も、市民からの要望・意見・苦情をただちに処理する体制はできていますし、各班の専用車も完備し、次のようなスタッフを組んで万全を期しています。

本部長 齋藤消防長
副本部長 長沢商観課長
同 今保険衛生課長
班長 一戸清掃室長
副班長 奈良観公係長

参議院議員通常選挙

- ◇立会演説会 6月22日19時
市民文化会館
- ◇投票 6月27日(日)
7時~18時
- 選びぬけ
悔なく6年 まかす人

生活環境パトロール活動状況

4,26~5,25

班別	事項	パトロール中発見件数	市民よりの通報件数	件数計	処理件数	未処理	関係機関へ連絡
環境班	ごみ処理	43	17	60	56	4	
	どろ処理	12	3	15	15		
	側溝補修	21	1	22	15	7	
道路交通班	遊園地整備	3		3	2	1	
	道路補修	46	15	61	25	23	13
	水道管補修	14	14	28	22	6	
	交通安全街灯補修	99		99	94		5
消防防災班	貯水槽整備	2		2	2		
計		(83.11%) 246	(16.89%) 50	296	(80.07%) 237	(13.85%) 41	(6.08%) 18

予防接種には、そのつど 問診票を出してください

予防接種は健康状態が最も良好なときに行うことがたいせつです。このため、これからも、予防接種には接種を受ける人の健康状態を問診票に記入してから接種します。とくに、乳幼児の場合は日常の健康状態と

当日の健康状態によって接種できるか否かを決めますので、できる限りお母さん方がお連れください。

◇乳幼児の予防接種

保護者は乳幼児の日常の健康状態をよく知っておくことがたいせつです。当日健康状態がおかしいと思われるときは、医師に詳しく話してください。

◇問診票の記入

問診票は既往症・先天性潜在疾患など詳しく記入してください。また、当日の朝に接種を受ける人の体温をはかってください。

◇予防接種後の注意

接種を受けた当日は、激しい運動や入浴などは避けてください。接種後、接種部位が赤くなったり、痛んだり、軽い発熱などがおきることがあります。しかし高熱・ひきつけ・けいれんその他異常な症状があると

市立図書館は
日曜日にも開館して
います

きは、すみやかに医師の診察を受けてください。

◇種痘後の経過

発熱は、早ければ四〜五日、遅くとも七〜八日頃三十八度〜四十度の熱が二〜三日続き、次第にきずが乾いてくる頃には平熱になります。

◇BCG接種後の経過

接種後三〜五週間後に泡粒位の赤いふくらみができその先が黄味をおびることがあります。

乳幼児については、かかりつけの医師または保健所市役所で実施している乳幼児の検診などを利用し、健康状態をよく知っておくことが、予防接種の事故を防ぐため参考になりますからすんで検診を受けてください。

戦死した地点の補完 通知を行ないます

驚異的ともいわれる経済復興を目のあたりにし、ふり返って遠く異境の地で国を想い家族を案じつつ戦没した人々をしのぶとき、まことに感無量なものがあります。

戦没者に対しての叙位・

叙位は、順調に進められています。最近、遺族や戦友団体の戦跡訪問も行なわれ、詳しい戦闘状況などは別としても、せめて戦没した島なり、おおよその地点ぐらひはぜひわかりたいという遺族の希望が多く聞かれるようになりました。

死亡場所は当時の死亡公報により、たいいては承知しているものと思われませんが、軍の機密保持などの特殊な事情から、死亡場所を詳しく通知できなかった時期がありましたので、国および県では、今後おおむね五か年間にこれらの人々の死亡場所を詳しく調査し、改めて遺族にお知らせすることになりました。

この時期の戦没者の対象は、旧陸軍関係は昭和二十一年一月一日から二十一年六月十四日まで発行した死亡公報のもの約二十四万七千件、旧海軍関係は、昭和十七年二月三日から二十二年四月三十日まで発行した死亡公報のもの約二十四万五千件ですが、除籍時の本籍の都道府県が、死亡公報を補完しそれぞれ通知します。

なお、遺族のうち老齢などにより、死亡公報の補完の通知を早く希望される人または対象期間外の死亡公報の人であっても死亡場所の細部が明らかでなく、死

6月20日(日)は 父の日です

毎年6月の第3日曜日は父の日です。おとうさんやおじいさんに感謝しましょう。

亡公報の補完を希望する人は、次のことを明らかにした死亡公報補完の申立書を市民課に出してください。

申立書の用紙は同課にあります。申立書に必要な事項は、戦没者の除籍時の本籍・所属部隊・階級・氏名・生年月日、死亡公報(死亡通知)などに記載されていた、死亡年月日・死亡場所・遺族の本籍・現住所戦没者との続柄・氏名などです。

福祉年金の所得届を出してください

七十才以上のお年寄りや心身障害者・母子世帯の人などで福祉年金を受けている人は、毎年一回六月中に定時の届をすることになっています。

この定時の届は、福祉年金を受けている本人、その配偶者および福祉年金を受けている人を実際に扶養している人の、昭和四十五年分の所得の状況などを届出してもらいもので、これによってことしの五月から来年の四月までの一年間、福祉年金を受けることができるかどうかを決める大切な届です。

この届を忘れていますとせっかくの年金が受けられなくなってしまうから六月中に必ず国民年金証書と印鑑をお持ちのうえ、市役所国民年金係までおい

6月〜12月の予防接種及び 検診予定表

6月下旬	日本脳炎	6か月〜15才と55才〜65才
7月上旬	乳児検診	1才未満
中旬	日本脳炎	6か月〜15才と55〜65才
下旬	3才児検診	3才〜4才未満
8月上旬	ツ反・BCG	6か月以上
中旬	妊婦検診	
下旬	循環器検診	40才以上
9月上旬	種痘	6か月〜24か月
中旬	妊婦検診	
下旬	インフルエンザ	2才以上
10月中旬	インフルエンザ	2才以上
下旬	結核検診	
11月上旬	百日咳・ジフテリア・破傷風	3か月〜6か月
中旬	結核検診	
下旬	百日咳・ジフテリア・破傷風	3か月〜6か月
12月上旬	妊婦検診	
中旬	百日咳・ジフテリア・破傷風	3か月〜6か月

●保育所・小中学校は別に行ないます

新宮団地の積立分譲住宅の 購入者を募集します

県住宅供給公社は、市内新宮団地に建築する頭金積立方式の昭和四十六年度住宅金融公庫融資による積立分譲住宅の購入者を、次のように募集します。

◇受付期
六月二十一日～三十日
ただし、土曜日は午前中、日曜日は休みです。

◇受付場所
市役所市民課住宅係

◇募集戸数
五十戸（一年積立十戸・二年積立二十戸・三年積立二十戸）

◇住宅の概要
宅地二百平方メートル二百八

十平方メートル（平均約七十五坪）

住宅五十三平方メートル（約十六坪）木造平家建カラートタンぶき

◇分譲価額（土地・建物とも）

一年積立（四十七年十一月引渡し）積立金百一十万円
公庫融資金百五十三万円

二年積立（四十八年十一月引渡し）積立金九十一万円
公庫融資金百七十七万円

三年積立（四十九年十一月引渡し）積立金九十万円
公庫融資金百九十二万円

三好橋が完成しました

市内の三好地区と木造町の出野里地区を結ぶ三好橋は、長さ三百三十三メートル、巾六メートルの鉄筋コンクリート

リートづくり、工費約三億九千万円で、昭和四十二年度から着工していましたがこの程、完成し、自衛隊のブラスパンドと鶴ヶ岡小学校児童の鼓笛隊の演奏行進とともに、葦川の竹谷寅吉さん三代夫婦と出野里の江良健太郎さん三代夫婦が渡り初めを行ない、とくに、三好橋の完成を喜ぶ葦川・出野里両小学校児童の作文朗読発表もあります。

また、記念行事として、葦川側川原で馬力大会、出野里側川原で津軽民謡大会橋上では自衛隊のブラスパンド演奏が行なわれる予定です。

水上安全法の講習会 を行ないます

毎年多くの水の犠牲者が出ていますが、これらの犠牲者をなくするため事故の防ぎ方・溺れた人の助け方・正しい泳ぎ方などを教えるのが赤十字の水上安全法です。

日赤県支部と日赤五所川原市地区は、次のように講習会を行ないますから、多数参加してください。

◇とき
七月二十日～二十二日
九時～十六時

◇ところ
岩木川乾橋附近

◇対象者
十八才以上で、三日間出席できる人

◇携行品
水泳着・タオル・筆記具
なお、受講希望者は、六月三十日まで、市福祉事務所内の日赤五所川原市地区赤十字係へ申込んでください。

集団に対し助成してきましたが、本年度も次によりこの事業を実施しますので、希望者は六月十九日（土）正午まで、市役所農林課農政係へ申込んでください。

助成の条件は、乾燥機を利用する農業者二戸以上の集団であること。乾燥機を利用する産米の生産面積が七ヘクタール以上であること。導入する乾燥機の設置場所が、すでにあるか、または、乾燥調製時期までに確保の見込みがあることである。

**古文書の解読講習会
を行ないます**

市教育委員会は、県立図書館や県文化財保護協会と共催で、七月四日（日）九時から十六時まで、市中央公民館で、古文書の解読講習会を行ないます。

講師は、県立図書館副参事小笠原二郎氏と市文化財審議会議長秋元省三氏で、受講料は無料ですが、テキスト代として四百円を要します。

なお、会場の都合により受講者を六十人に限定しますので、お早めに市中央公民館にお申込みください。

前納報奨金をさしあげます

市・県民税や固定資産税の納期は四期に分かれています。納期のまだ到来していない期分の税金を納期中の税金と合わせて納付したときは、五所川原市税条例の規定により、その場ですぐに次の割合で前納報奨金をさしあげます。

その額は、納期前に納めた税金の額に百分の一を乗じ、それに納期までの月数を乗じた額です。



市の上水道は、それまで飯詰から送水されていましたが、給水人口の増加に伴い、岩木川市では、給水人口が、飯詰一万六千四百人・元町二万三千六百になる計画を立てていますが、元町浄水場は一日八千立米の浄水能力を有し、取水ポンプ五台・五千立米の沈澱池二池・二千立米のろ過池五池・塩素滅菌設備・配水池三池・配水ポンプ五台それに、停電に備えての自家発電機と六人の職員が交替勤務で昼夜の別なく清水守りをしていきます。

市役所市民課住宅係

市の上水道は、それまで飯詰から送水されていましたが、給水人口の増加に伴い、岩木川市では、給水人口が、飯詰一万六千四百人・元町二万三千六百になる計画を立てていますが、元町浄水場は一日八千立米の浄水能力を有し、取水ポンプ五台・五千立米の沈澱池二池・二千立米のろ過池五池・塩素滅菌設備・配水池三池・配水ポンプ五台それに、停電に備えての自家発電機と六人の職員が交替勤務で昼夜の別なく清水守りをしていきます。



簡易保険の作文を募集します

郵政省簡易保険局は、文部省・青森県教育委員会・NHKなどの後援を得て、第十回簡易保険児童生徒作文コンクールを次のように行ないます。

- 次のようにヤング・アドバイザーを募集しています。
- ◇応募資格 性別や職業に関係なく、テレビ・ラジオに関心をもつ十五才〜二十五才の人。
- ◇任期 五月〜十月の四か月間。
- ◇実施内容 毎月二本程度の番組モニターなど。

◇目的 次代を担う国民に簡易保険のもつ相互扶助の精神とその資金が義務教育施設の整備拡充など、財政投融资を通じて広く国民の福祉の増進に寄与していることについて理解を深めてもらうと共に、学校教育振興の一助にするものです。

◇応募方法

六月三十日まで市内の最寄りの郵便局へ持参してください。

◇応募資格

小学校五年〜中学三年

◇応募規定

作品は、最近の創作で、他のコンクールや出版物などに未発表のものに限ります。課題は、「簡易保険」またはこれに関連のあるものおよび自由題です。

字数は、四百字詰原稿用紙五枚以内で、作品には文題、住所、校名、学年、氏名を書いた応募票を一枚めの上部につけてください。
NHKでヤング・アドバイザーを募集しています

NHKは、放送について若い人々の意見を集め、番組や経営に反映させるため

むし歯をなくしましょう



電気冷蔵庫は上手に使ってください

電気冷蔵庫の上手な使い方は、なるべく電気を食わないようにすることです。それにはできるだけ扉の開閉を少なくすることです。一度扉をあけると外気が庫内に流れ込み、部屋の温度が三十度の場合最低六度も庫内の温度があがります。また、棚に食品を入れ過ぎると庫内の冷気の対流を悪くし電気を食うばかりでなく庫内の温度にムラができます。

検察審査会をご存知ですか

犯罪が行なわれたとき、犯人に相当の刑罰を科すべ

第24回 明日をひらく映画の会

- ◇とき 6月19日(土) 14時〜16時
- ◇ところ 市民文化会館
- ◇映画 文部省特選 「鷹と少年」 家庭教育映画 「6人姉妹」
- ◇入場 無料 主催 市教育委員会

高校生の論文を募集しています

できませぬ。 RAB青森放送は、県教育委員会・東奥日報社・陸奥新報社などの後援を得て次のように、高校生及び工業専門高校生からの論文を募集しています。

◇目的

いま、日本はあらゆる面にわたって大きな転換期に直面していますので、その新しい時代の門口に立つてまず県民は新しい日本における青森県の未来を展望し描き出すことから始めなければならぬと思ひ、未来に夢を託す高校生の創造力と、愛する郷土に対する豊かな抱負や夢を数多くお寄せください。

◇テーマ

「日本における青森県の未来」。

◇字数

四百字詰原稿用紙五枚以内。

◇締切日

七月十日(土)。

◇送付先

青森郵便局私書箱八十八号・青森放送「懸賞論文」係。

◇賞

一位一人五万円(他に本人の学校へ図書券五万円)
二位二人各二万円(本人の学校へ図書券三万円)、三位二人各一万円(本人の学校へ図書券二万円)、佳作五人各五千元。